

## 1. 計画の推進

計画の推進は、市民が主役です。

市民一人ひとりが「食」に関心を持ち、積極的に「食育」を実践していくことが必要になっています。このため、食育の推進にあたっては、家庭、保育所、幼稚園、学校、関係団体、行政などが、それぞれの役割に応じて主体的に活動し、市民運動として取り組みを推進することが重要です。

## 2. 関係者の役割

### ○家庭の役割

家庭は食生活の基本の場であり、特に子どもたちが健全な食習慣を身につけ、心身ともに健やかに育っていく上で、大きな役割を担っています。家族団らんで食卓を囲むことを基本に、食に関する正しい知識を身に付ける食の楽しさを実感するなど、日常で「食」に関する体験活動などに参加して、「食」に対する関心や理解を深めることも必要です。

### ○保育所・幼稚園・学校などの役割

保育所や幼稚園・学校などは、子どもの健全な食習慣の形成と豊かな人間性を育む上で、重要な役割を果たしています。家庭や地域との連携を図りながら、関係者が様々な機会を活用して子どもが「食」の大切さや楽しみなどを実感できるよう、食育を計画的に推進することが大切です。

### ○地域の役割

地域において食育を推進するためには、家庭や学校等における取組みのほか、保健・医療関係者、ボランティアなどによる幅広い活動がもとめられています。食育に関し専門的な知識を有する栄養士などは、地域と連携を図りながら、食生活の改善を推進することが大切です。

消費者団体や食生活改善推進協議会などのボランティア団体は、食育の推進に自主的に取組むとともに、行政が実施する食育に関する施策や活動に協力することが期待されます。

### ○生産者の役割

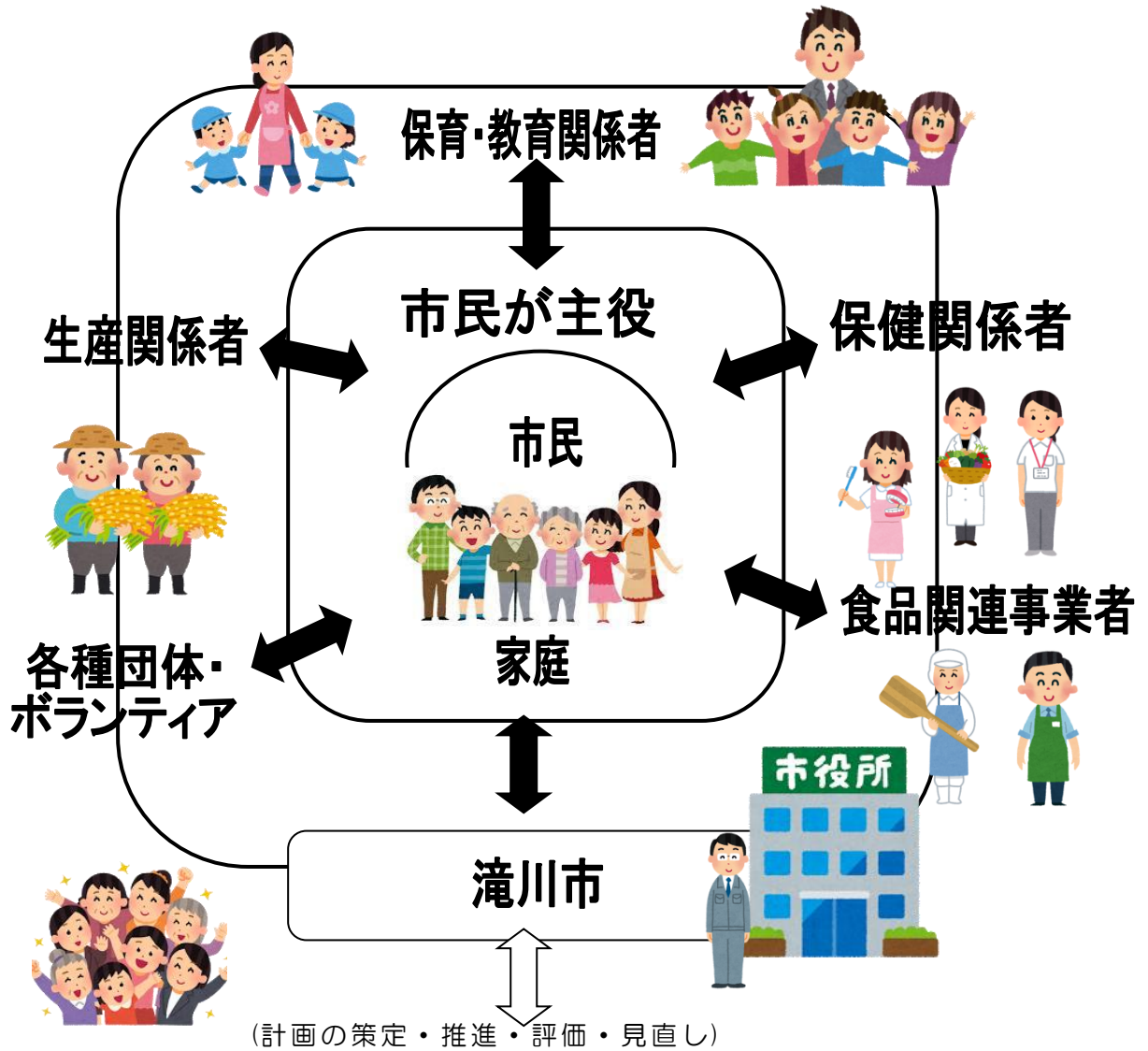
地産地消を基本として、安全な農産物の生産に努めます。農産物の栽培・収穫など一連の農業体験をとおして、子どもの食と農への関心を高める食農教育を推進します。また、食品の製造や販売などに関わる業者は、食の安全安心の確保に取組むとともに、食を通じた健康づくりに関心を促し、バランスの良い食生活が実践できるように、わかりやすい情報提供に努めます。

### ○行政の役割

市民とともに食育推進運動に取り組むために、教育、健康、福祉、産業、環境などそれぞれの分野における施策を総合的、計画的に進めるとともに、食育の担い手が実践する取組みを支援します。また、食育を総合的な市民運動とするために食育関係者相互の情報共有と連携を図ります。

### 3. 食育推進体制

食育を主体的に取り組むために、市民・地域・関係団体等様々な関係機関が連携・協力体制をとり、それぞれの役割を十分に発揮して食育を推進します。



### 食育推進市民会議

### 4. 評価

本計画の進行管理については、施策を効果的に推進し事業などの達成状況を客観的に評価するとともに、滝川市食育推進市民会議において審議します。